

資料:再評価シート

※この再評価シートは、平成28年9月に実施した内部の中間評価(自己評価)結果の妥当性について、市民委員による外部評価を実施したものです。

ID	取り組み内容	推進担当課	担当課自己評価 (今年度の成果指標を達成できる見込みがあるか、または四半期の計画どおり事務が完了する見込みがあるかが評価されています。)	市民委員会による各課自己評価への再評価およびコメント			
				担当課自己評価に対する市民委員の再評価結果(9名)			自由コメント欄
				妥当	妥当ではない	判断できない	
1	県及び近隣自治体との連携強化、中核市・連携中核都市への移行	中核市推進局	B:計画どおり	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 中核市になることで住民サービスの何がどのように変わるのかが今ひとつ分からない。 たった1回の研修だけでスキルアップが図られたという判断はできないのではないか。また、500名の参加が全体から見ると比率的に多いかどうか(積極的な参加かどうか)が判断できない。 市民にとってのメリットを具体的に説明し、理解を広げてほしい。
2	鳥取・因幡定住自立圏共生ビジョンによる取り組みの推進	政策企画課	B:計画どおり	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 共生ビジョンでの鳥取市が果たすべき役割と他の自治体との関係性が見えにくい。 連携中核都市圏の考え方や計画など、市民などへの説明・情報発信の取り組みも必要ではないか。 H31年度を達成年度とすれば、プロセス行程の全貌がわからないまでも、準備段階としては順調ではないかと判断した。
3	シティセールス戦略プランの策定、鳥取市地域ブランド創出・活用方針の見直し	政策企画課 文化財課	B:計画どおり	3	2	4	<ul style="list-style-type: none"> この指標が目標としているところにどうつながっていくのかがよく分からない。 成果指標には、税金やふるさと納税など具体的な目標設定が必要では。 成果指標を地域ブランド力の順位としているが、その指標が妥当かどうか判断できない。 このシートでは戦略プランの内容は分からないが、プランで目指しているものと、このIDでの取組および進捗率は一致しているか。(プラン通り進んでいると言えるのか) 地域ブランド力50位が目標とするならば、このスピード感では達成までかなりの時間を要すると感じるがどうか(具体的なセールスプランをもっとスピーディーに策定するべきではないか)。
4	鳥取砂丘・いなば温泉郷を核とした観光ブランドの確立	観光戦略課	B:計画どおり	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 着地型観光商品の大切さは理解するが、何が目玉の商品で売り出したいものなのか明確に意識できない。 県外に旅行する際は必ず自治体のホームページを見るが、そこにどんなメニューがあるのか、現在進めている切り口の内容が追加されているかなど、旅行者目線の進捗よく判定が最も大切なのは。 そこに行かないと購入できない商品を掘り起こし良さを磨いていく施策が必要。自然の風景もいつまでの魅力ある美しさを保つ努力が必要。 計画そのものの妥当性に疑問 成果指標的にも今年度達成率が順調に推移するとすれば、四半期ごとの計画が達成されていることを考えると概ね順調と言えるのではないか。
5	都市計画マスタープランの見直しと立地適正化計画の策定、リノベーションによる街づくりの推進	都市企画課 中心市街地整備課	C:計画を下回る	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進む中、コンパクトな都市化計画を推進していくことは非常に困難なことです。基本的に市民は自分の生活圏内の利便性を重視しているので、公共機関(移動手段)の利便性が向上しない限り今の状況からの脱却はないと思いますが、市としてはどう考えておられるか。 リノベーションは若者を引き付ける手段として有効だと思う。しかし、権利者を動かす必要があり行政で取り組むには限界や時間的に非効率な面があるのではと感じるが、実態としてはどうか。 コンパクトシティの取組は全市的取り組みでは?長期間の取組必要でこのような評価になじまない気がします。 根本的なリノベーションに対する理念が不足している。地主も交えた有識者会議を設定したらどうか? 市民意見がなかったことについては、市民コメントを求める段階からのやり直しが必要では?意見聴取をされてはいるようだが、反映すべきは本来の市民コメントであると思う、データ収集方法も併せて意味のある意見反映を行うことを大前提とすれば、進め方に問題があると感じた。
6	利便性が高く効率的な生活交通網の構築	交通政策課	B:計画どおり	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 必要なルートはどこかという視点でリサーチする必要があるのではないのでしょうか?利用率の高いところは本数を増やし、そうでないところはタクシー利用で対応する(助成金を使ったり各社協力が必要だと思います)など、利用者が「便利だな」「運転するよりいい」といった感覚がないと難しいと思います。 毎年のように路線の見直しが図られているがその成果はどうか。効果の出ている路線には手厚くするなど、改善点を成果として示す必要があるのではないだろうか。 今のやり方でコスト面・利用者の効果性がわかりづらいので判断しづらい。 バス利用者を増やすための工夫、啓発などの取り組みがされていないのでは、効果がない。 進捗状況だけを考えれば妥当であると思うが、この内容だけで行政効果があるかどうかは判断できない部分もある。 人口減少と予算を考えれば妥当(計画通り)と言わざるをえないのではないかと思う。
7	鳥取市協働のまちづくりの推進	協働推進課 道路課	B:計画どおり	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 「道路アダプト」が聞いても何かが分かりません。 「道路ボランティア」をメインした方が分かりやすいのでは。 フォーラム参加が100名とは非常に少ない気がする。 アンケートの判断(評価シートの記載内容?)では、いい加減な部分が見える。 コミュニケーションの場である公民館のあり方を考える必要有り。若い方が自由に入れるような組織作りも課題。 道路アダプト制度の新規団体件数について、目標が明記されていないので、適正か判断できない。 四半期ごとの計画が3期目まで同じ内容で、何が順調なのか判断がつかない。 かなり努力の跡が見える。
8	地区公民館の活用の基本方針の策定	協働推進課	C:計画を下回る	6	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティにはそれぞれの地域事情があり、公民館の活用もさまざまだと思う。成功事例のようなものを担当課が把握されて、全体で情報を共有することが大切では。 公民館の活用の幅に地域に寄って隔たりがある。地域を越えた利用活動の促進。 ほとんど着手できていないのではないか? 評価内容を見るとやや、というよりはDだと感じる。
9	環境基本計画の見直し、ごみ処理手数料の見直し	生活環境課	B:計画どおり	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 成果指標の設定が妥当かどうか不明。すでにH31の目標を上回っている。 企業の意識を変える働きかけ。 議論開始、準備を進める、の文言だけしかないので、Dだと感じる。

10	学校施設での省エネ活動の推進による学習環境の改善	教育総務課	D:計画を大幅に下回る	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・政策自体の目的が理解できません。省エネ活動で学習環境が良くなるのでしょうか？省エネは大切なことですが、温暖化で年々気温が上昇するなどの条件を考慮すれば、同じベクトルで進む話ではないように考えます。 ・モデル校の具体的な取り組みが見えてこない。 ・環境教育の推進を無理に消費電力の削減と結びつけなくても良いのでは。 ・実施していないのだから、未着手ではないのか。 ・省エネ活動目標による学習環境の改善がグリーンカーテン実施でいいのか。再検討を要すのではないか。 ・啓発活動の継続(低年齢化義務化) ・大いなる努力が必要。 ・未実施、模索、という評価は非常に残念。子どもたちの環境については、最優先していただきたい。学校環境を整えることは、省エネだけに限らず、鳥取の未来のために必要だと思う。
11	市有施設におけるコンセッション方式導入の検討、指定管理者制度活用ガイドラインの見直し	行財政改革課	C:計画を下回る	5	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・たたき台の作成に至らなかったのならばDであると思うのと、具体的な案が現在策定されているならばともかく、もしまだであるのなら、無理やり今年度中の審議に持ち込むのは無理やりなのでは？ ・コンセッション方式の検討状況、具体的な施設活用につながるイメージが見えてこないため判定不能とした ・「計画」と「進捗状況」の記載内容が大きく異なる為、判断できない。 ・備考記載のとおり。民間ノウハウを活用し、財政負担の軽減ができればよいと考える。 ・全体では下回っているようが出てくる所もある。
12	市立保育園民営化ガイドライン見直し(第2次民営化計画の策定)	児童家庭課	B:計画どおり	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者目線で言えば、民営化にして安い賃金で働かせるようにしか見えません。こういった施策が人材不足を招き、待機児童を増やし、そうすればまた働くことが出来ないといった負のスパイラルを生み出していると思います。同じ保育士でも、公務員とそれ以外では賃金が違い過ぎるのはおかしいと思いませんか？ ・民営化は良い方向だとは思いますが、サービスの維持、向上につながるのかという懸念がある。記述の中にもそういった住民目線の配慮がほしい。 ・子供が減り多様化している中で、民営化にして特色を出して個性を伸ばしていければよい。 ・成果指標の根拠を聞きたい。26(H27)→22(H31) ・民間事業者2社が必要に対して妥当かどうか判断できない部分があるが、具体的な取り組みが見えるので妥当と判断。 ・四半期ごとの計画はもう少し具体的にすべきでは？
13	地域推進型移住定住の促進	地域振興課	C:計画を下回る	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・古民家を住民から借りる問題(空き家の提供が少ない)、民泊への移行、老人と若者を組み合わせたシェアハウスの推進。上記3つどれも選んでいない。 ・自治体が数値目標を設定して取り組むべきなのか、疑問を感じる。 ・達成率的にみると遅れているのは明確であるため。
14	eモニター制度による政策決定のシステム化	広報室	D:計画を大幅に下回る	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは目的が大切なので回数で判断する必要はなく、効果が期待できる内容に限定すべきでは。 ・政策反映の満足度はどのように図るのか不明。 ・アンケート内容の項目がわからないので判断しにくい。 ・この他の事業にも言えることだが、コメント・意見集約、アンケート等に関わる事業の運びがよろしくないと思われる。周知方法がよくない？ピーアールがうまくない？ ・モニターアンケートの各回の回答者数が知りたい。そもそも成果指標の設定(満足度70%)根拠は？ ・モニターアンケートの対象者がわからない。
15	市の行政サービスに対する満足度等の的確な把握と施策への反映	行財政改革課	B:計画どおり	5	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期の計画が一部実施されていない。 ・eモニターの実施はできたのか？調整、検討、進めている、という言葉を見ると、遅れているように感じる。 ・ID14の成果指標との違いがよくわからない。満足度50%の目標は妥当か？ ・アンケートは手法が適切だと考えるがここには方法が具体的に触れられていないので判定不要とした。
16	広聴・広報一体化基本方針の策定、政策決定過程において、市民の意見を反映する仕組みの再構築	広報室 市民総合相談課	D:計画を大幅に下回る	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・前市長時代からこの点については力を入れてきたように思うが、コストに見合う成果が出ているかどうかは疑問。 ・市民の意識の向上をどう図るかが先決であろう。 ・協議中という言葉は民間感覚ではあり得ない。半年以上も協議中でストップしている事業というのは如何なものか。 ・市民合意の形成が重要と捉えているにもかかわらず基本方針策定がH30であるが、それまでの年度計画がなく策定できるか疑問。 ・計画内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。
17	政策決定過程において、市民の意見を反映する仕組みの再構築(ID16と統合)	広報室 市民総合相談課					
18	部局別情報発信ページの開設、市民への情報提供のあり方検討会議の充実、市ホームページの抜本的見直し	広報室	B:計画どおり	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・露出が一部メディアに集中して巻き込みの範囲が限定的な点は気になる ・媒体広告換算値は分かりづらいのでは。広告として〇円分の効果があった方がよいと思います。 ・新規の情報発信を開放して若者世代への強化につなげているが興味を引くような効果性がでていくかわかりづらい。 ・計画内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・普段の生活でも目にする事項が多いので、体感ベースでも事業を推進していると感じたため。
19	第3次鳥取市経済再生・雇用創造戦略に基づく事業の推進、起業支援策の強化	経済・雇用戦略課	B:計画どおり	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングを利用した新規創業で相当数の雇用が生まれているのであればともかく、何を以って雇用創造につながっているのかが見えない。 ・企業同士が連携し優秀な人材育成の効果的結果が出るようなネットワーク作りが必要ではないか。 ・率先力になれるような価値を上げられるような企業体制になっているのか検証も必要。 ・特にこれから起業支援の充実が大切。 ・計画内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・数字的に見れば順調に思えるが、大切なのは雇用の定着である。その部分がこの資料だけではわからない。
20	登録制に基づく、職員採用試験情報及び市内誘致企業等の就職情報の配信	広報室	C:計画を下回る	7	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の地元志向は想像以上に感じる面がある。登録制度が不調なのはそこにメリットが感じられないからなのでは。 ・登録者数の設定根拠不明。 ・27年度12名は少ないもしていないのと同じでは。 ・計画内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・雇用促進は弊社においても重要課題の一つであるが、資料内容だけでなく、経験上行政サイドの施策は有効に働いていると思えないので、この評価は妥当。
21	すごい！鳥取市婚活サポートセンターの運営、参加しやすい婚活イベントの実施	政策企画課	C:計画を下回る	5	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・本気で結婚相手を探したいと思っている人が何人参加しているのか？やみくもに募集をかけてイベントしても成果は出ないと思います。 ・男女で参加費が大きく違うので、集客をしたい思惑は理解できるが、ただ安価で飲み食いできるといった感覚で参加している人も多いと思います。正直、そういったものに税金を使って欲しくはないと思います。 ・イベントだけでは成婚率に結び付かないのであれば次のことを考えるべきでは。 ・婚活サポートセンターの実態がわかりづらいので判断しにくい。 ・民間委託を考えればどうか？ ・行政が主となって行う業務でしょうか。 ・婚活支援の方向性が見えないので、なんとも言えない。このような事業こそ、外部業者に委託して、費用対効果の高い事業を行うべきでは？ ・こればかりはご縁なので、単純に数字の指標だけでは読めない部分もあると思われる。

22	不妊治療補助制度の拡充、不育治療費補助制度の創設、民間企業への不妊・不育治療休暇制度導入の勧奨	中央保健センター	C:計画を下回る	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・民間への不妊・不育治療休暇制度導入の勧奨とあるが、人事部署が休暇理由を把握できるか疑問。 ・周知、医療機関との連携を進めてもらいたい。 ・非常にナーバスな問題であると同時に金銭的負担がここに大きいのか。私の周りでも実際に苦労されている方も少なからずいるので、頑張っていたきたい。
23	多子世帯への子育て支援の強化(第3子以降保育料の無料化など)、病後児保育実施園の拡充、休日保育実施園拡充の検討	児童家庭課	A:計画を上回る	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・該当者の意見も聞いてみたい。 ・計画内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・休日保育園実施の内容について触れられていないため。 ・保育ニーズは多様化しているので今後もサービスの充実に努めて鳥取モデルを輩出してほしい。
24	放課後児童クラブの運営のあり方の見直し	学校教育課	B:計画どおり	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数も重要な指標ではあるが、満足度も聞いてみてはどうか。 ・記載されている内容からすると妥当であると考え。
25	高齢者を対象とした外出支援の拡充、サービス付高齢者向け住宅誘致の推進、公共施設リノベーションの推進(シニアスクールの開講)	高齢社会課	C:計画を下回る	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許自主返納の動きとの連携などアクティブシニア支援の他の動きとの連携でメリットを明確にすることが必要ではないか。 ・気軽に関わられる仕組みになっているか検証が必要情報提供が共有されているか。 ・進捗内容、達成率から妥当と考える。
26	高齢者が取り組みやすいレクリエーションスポーツ大会等の誘致	生涯学習・スポーツ課	A:計画を上回る	8	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ボウリング大会1回の実施決定だけで十分とよいか。 ・ボウリング大会実施が決定したにもかかわらず成果指標が「1」大会でいいのか。 ・ボウリングだけで高齢者参加がカバーできると思えず、幅広い競技の検討が必要なのでは。 ・前倒して大会を実施したこと、その後の意見交換も予定されていることから妥当と判断。
27	高齢者を対象とした生涯学習の推進	生涯学習・スポーツ課	C:計画を下回る	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・実態は限られた方だけの参加にとどまっている。誰でも参加できるような有効な手段になっているのか検証が必要。 ・情報収集自体できていないか。 ・進捗状況の記載が具体的にないので、判断できない。
28	外国人観光客によるクチコミ情報発信の促進、ファミツアーの対象区域の拡大検討と体験型ツアー・各国の文化に応じたメニューの新規開発	観光戦略課	B:計画どおり	6	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容と成果指標がリンクしていない気がします。 ・グローバル社会を視野に入れ機運を高めるためにも発信方法に検討の余地がある。 ・一時的な消費ばかりではなく、持続性のある経済効果に波及するような観光を発掘。 ・自治体が住民の自発的な取り組みを引き出すような役割が必要。 ・計画内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・積極的な事業展開と達成率を見る限り妥当と考える。 ・少し遅れていると思う。
29	課税の適正化、未申告法人等調査の強化(個人住民税の特別徴収強化)	市民税課	B:計画どおり	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・進捗状況も順調であり、妥当と考える。
30	課税の適正化、未申告法人等調査の強化(固定資産税の未申告調査)	固定資産税課	A:計画を上回る	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・達成率を見ると目標設定が適正か今後の判断が必要かと感じた。 ・成果指標の根拠？
31	コンビニ納付の拡充、ペイジー口座振替、クレジット収納等の導入検討(税)	出納室	B:計画どおり	6	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジット収納の検討が2年間とスピード感がないのでは。 ・国保料では既にペイジーが導入されており30年度の導入検討では遅いのでは。 ・今は移行期なので目標を拡充に据えればよいが、コストと見合う効果はあるのかいずれは検証も必要では。 ・計画内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・達成率を見れば妥当かもしれないが、進捗状況は「検討した」だけの表記で、何が実施されたのかわからないため。 ・納付方法の拡充は特に若年層にとってありがたいこと。
32	ペイジー口座振替、クレジット収納等の導入検討(国民健康保険料)	保険年金課	B:計画どおり	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今は移行期なので目標を拡充に据えればよいが、コストと見合う効果はあるのかいずれは検証も必要では。 ・納付方法の拡充は特に若年層にとってありがたいこと。 ・振替率が増加していることを考えると妥当ではないか。
33	債権回収の推進	債権管理課	B:計画どおり	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・債権回収を推進するのではあれば、移管を成果指標とするのではなく、徴収実績とすべきでは。 ・滞納債権総額は？成果指標が移管件数だが、目標である債権回収とどうリンクしているか？ ・部会、会議も定期的に行われており、実行内容も明確で、達成率は下がっているものの、妥当と考える。
34	第5次鳥取市行財政改革大綱に基づく使用料の見直し基本方針の見直し	行財政改革課	B:計画どおり	5	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「見直しを検討する使用料等の割合」という成果指標がよく分からない。 ・成果指標の根拠？ ・ライフサイクルコストの考え方はいかにも行政的なので、利用者に理解してもらう必要もあるのでは ・計画内容、進捗状況の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・分析と検討だけでは結果がわからない。
35	プレミアム付きふるさとプレゼントの開発、ふるさと納税ポイント制度の導入検討	市民税課	B:計画どおり	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の設定がおかしいのでは。 ・第2期に計画していた開発商品案の検討・開発は未着手ではないのか。 ・協賛企業への働き掛けが適正なのか、協賛協定の企業の幅はどこまでなのか？ ・成果指標の根拠？ ・プレゼント開発の意欲増進は評価すべきなのは ・システム開発までのプロセスは計画通りと判断したため。
36	各種公共施設内のスペースなどへの小規模ネーミングライツの検討	財産経営課	D:計画を大幅に下回る	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・景気に左右されるので現状を踏まえ目的達成の有効な手段がとられているのだろうか。 ・欠員状態で業務が困難と記載されているが、どのような役割をしているのかわかりづらい。 ・欠員を理由としているため、評価できない。 ・取り止めも含めて検討が必要なのでは。 ・計画的にみるとまだ時間的に余裕があるため、なんとも言えないところではあるが、未着手、努める、という表記は残念。
37	農林水産物等の国内外への新規販路開拓、高値販売の輸出ルート確保	生産流通振興室	B:計画どおり	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト面などから付加価値が高い商品作りを必要とする山間地域の農業者との結びつきを是非強めてほしい。 ・成果指標の目標が低いような気がします。 ・地元企業には地元産の物を積極的に使って頂けるような働き掛けが必要。消費者のニーズに答えるために市場調査をする。 ・指標根拠？ ・商談会、PRの計画も予定通り実施され、他部門との連携が図られていることは非常にいいと思う。

38	魅力ある地元産品の開発促進	経済・雇用戦略課	B:計画どおり	6	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・行政はスキームを作ってコーディネートは民間に委ねるべきでは。 ・6次化情報バンクの事業化については費用対効果をしっかり検証してほしい。 ・大学の研究成果を企業化するようなサポート整備面はどうか。(若い世代の主体性)、企業が積極的に参加することにより、企画力・マーケティング・ノウハウが計れるので戦力の強化が必要。 ・パッケージ等のプロデュースを地元の芸術家を起用。 ・目標の設定の見直しと実績主義による判断を導入したい。 ・地元産品を開発した事業所は増加傾向、事業開始、申請事業所も見込まれるとあるため。 ・成果を延べ数で記載しているが、実際は6社中3社であり達成率は50%。
39	固定資産台帳の整備と公共施設等総合管理計画の策定、施設保全情報台帳の運用、中長期保全計画の策定	財産経営課	B:計画どおり	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリティマネージメントで何を指すのかも分からない上に、アクションプランもないので何とも言えない。 ・検討のみとあるが、順調であると判断している判断材料が明記されていないため。検討のみであるならば、Dなのでは？
40	固定資産台帳の整備と公共施設等総合管理計画の策定を促進(ID39とID53に分割統合)	行財政改革課					
41	各種インフラ長寿命化計画の策定(市営住宅長寿命化計画)	建築住宅課	B:計画どおり	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも公営住宅の必要性、ニーズはいかほどなのか、長期的に必要なものなのかが分からない。 ・次期計画を繰り上げて実施できているので、「A」ではないのか。 ・アンケート実施、数回の意見交換を実施、まとめまでのプロセスが見えていたと感じたため。しかし、アンケート結果が少ないのでは？
42	各種インフラ長寿命化計画の策定(道路アセットマネジメント計画)	道路課	C:計画を下回る	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画内容からすると大幅に遅れていると考えるため妥当。
43	各種インフラ長寿命化計画の策定(漁港機能保全計画)	林務水産課	B:計画どおり	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・この辺りのインフラに関しては専門家による妥当性の評価が必要では。 ・計画内容が明示されていない、実施内容も計画通りとだけあり、実施内容が明記されていなしため判断できない。このような表記が適正なのか？
44	各種インフラ長寿命化計画の策定(各下水処理関連施設の長寿命化計画)	下水道企画課	B:計画どおり	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・この辺りのインフラに関しては専門家による妥当性の評価が必要では。 ・策定に数年かかるものは本件評価になじまない気もします。 ・内容的には順調と考えるが、進捗度がCが多い割にBなのは？
45	各種インフラ長寿命化計画の策定(河川構造物長寿命化計画)	都市環境課	B:計画どおり	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・この辺りのインフラに関しては専門家による妥当性の評価が必要では。 ・計画内容的には順調と考える。
46	未利用財産の利活用についての方針の見直し、不用品の公売等の実施	財産経営課 生涯学習・スポーツ課	A:計画を上回る	6	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用財産を生まないこと、抑制も考えてほしい。 ・そもそもの目標設定が低すぎるのでは。 ・目標根拠？ ・計画の進捗度と上記計画に基づく評価がずれている理由がわからないのと、実績、達成率の設定が適正なのか判断がつかないため。 ・実績で上回っているかが問題。
47	行政経営システムの本格運用	行財政改革課	E:検討の結果中止	4	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・一時休止が妥当かが不明。 ・项目的に多岐にわたる大切な事項と考えるが、中止になったのが非常に残念。 ・なぜ中止になったのかを具体的に検討すべきではないか。
48	第2次補助金等整理合理化方針の策定、全庁横断的な補助金のあり方検討会議の設置	行財政改革課	B:計画どおり	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しの具体例が分からない、どちらかと言えば監査委員の仕事か。 ・「補助金の担当課評価」は適切とはいえないのではなのか。 ・補助金のあり方検討会議の設置については記載なし。 ・財源が豊かであれば別ですが、補助金に依存するような安易な仕組みは作るべきではない。(たとえば地域で当たり前のことなのに補助金を出している。)将来性を考え、次世代に反映できるよう精査する時期にきている。 ・進捗内容的に妥当と考える。
49	政策的な事務事業についてのサンセットルールの策定	行財政改革課	C:計画を下回る	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・サンセットルールの内容がわからないので判定しづらい。 ・検討という文言が並び遅れていると考えられる。
50	合併事務事業調整事項の総点検と見直し	地域振興課	A:計画を上回る	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・完了の目処が立っているとのことで妥当と考える。
51	交付税措置を除く市債の元金償還金及び残高の逡減	行財政改革課	B:計画どおり	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の一部が実施されていない。 ・内容的に妥当と考える。
52	基金の適正運用方針の策定	行財政改革課	A:計画を上回る	5	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の設定根拠が不明。達成率も50%とすべきでは。 ・2億円の債権追加購入が予定通りなのかが不明。 ・計画内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・記載内容が少なく、年度別目標の達成率が適正かどうか判断できない。
53	新地方公会計制度の導入による効率的な行政経営の推進	行財政改革課	B:計画どおり	5	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期ごとの計画の説明会、組織設置がなされたかどうか明示されていない。 ・計画内容、進捗状況の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。
54	生活習慣病対策プロジェクトチームの活動推進、生活習慣病重症化予防のための研究と結果に基づく事業の推進	保健医療福祉連携課 保険年金課 中央保健センター 東健康福祉センター	B:計画どおり	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・達成率の高さから判断。 ・達成率、利用率ともに具体的な数字が上がっており実施内容的には妥当と考える。
55	ジェネリック医薬品の利用促進、鳥取市国民健康保険医療費適正化広報キャンペーンの拡充	保険年金課	A:計画を上回る	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・予防啓発とジェネリック医薬品の利用促進は別次元の話だが、一様に評価できるのかは疑問。 ・具体的に事業実施されており、同時に問題点も理解されており全体的に順調、妥当と考える。
56	市独自の環境マネジメントシステムの運用	生活環境課	B:計画どおり	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量削減より、具体的な電気代としていく削減できたのかが分かりやすいのでは。 ・こうしたシステムに基づいた目標設定と精査は説得力がある。 ・詳細は分からない部分があるが、全体的な印象としては妥当ではないか。
57	第2次外郭団体の経営改善及び統廃合に関する方針の策定、鳥取市土地開発公社経営健全化計画の見直し	行財政改革課	C:計画を下回る	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・将来負担を考えれば果たすべき役割とこれまでの用途を明確にした方が望ましいが、委員会で議論する内容かどうかは疑問 ・借入利息の金額では健全化の判断はできない。 ・実施内容・達成率ともに遅れており、妥当である。
58	鳥取市水道事業長期経営構想の推進	水道局経営企画課	B:計画どおり	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・将来負担を考えれば果たすべき役割とこれまでの用途を明確にした方が望ましいが、委員会で議論する内容かどうかは疑問。 ・将来的な維持管理費用を踏まえた財政や経営構想になっているのかは市民としては心配。 ・給水収益の6ヶ月分の内部留保が長期安定経営となるか判断できない。 ・前年度の業務指標を半年遅れで作成している状況と詳細がわからないため判断ができない。 ・水道事業ガイドライン並びにそれに基づく直近の業務指標が知りたい。

59	第2次鳥取市立病院改革プランの策定、医師奨学金制度の継続	市立病院	C:計画を下回る	7	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク作りの構築(人脈作り)病院の魅力ある整備。 ・達成見込みは、大幅に下回るのではないのか。 ・病院改革プランが知りたい。 ・人員不足の状態解消が喫緊の課題。 ・人員確保は最優先課題だと考えるが達成されていないため妥当。
60	上水道事業と下水道事業の組織統合の在り方についての検討、上水道事業と簡易水道事業の事業統合の推進	水道局経営企画課	B:計画どおり	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・半間①-③の検討事項は結論が出ていない状況。このペースで年度内に完了できる？
61	水道料金と下水道使用料の賦課徴収業務の一体化の検討	水道局料金課	B:計画どおり	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール通りに計画は進められている状況はうかがえるが、削減効果無しであれば遅れているのでは？
62	上水道事業と下水道事業の組織統合の在り方についての検討、水道料金と下水道使用料の賦課徴収業務の一体化の検討	下水道経営課	B:計画どおり	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・組織統合のデメリットはあるのか。 ・計画通りに進められているという記載だけ見ると妥当であると考え、2回目のテスト準備は完了したのか？
63	下水処理場の統廃合の推進	下水道企画課	B:計画どおり	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・内容的に見ると妥当だと考える。
64	情報システムの一元管理、市が保有するオープンデータ活用方針の策定、総合窓口システムの導入による窓口サービスの見直し	情報政策課	B:計画どおり	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・システム改修は膨大な予算を伴うことが多いので効果をしっかりと説明してほしい。 ・具体的に事業が進められている様子がうかがえるため。
65	マイナンバーを活用した情報システムの検討	総務課	B:計画どおり	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の実施は成果指標として妥当か不明。 ・セキュリティ強化のために研修を実施しているが外部に委託しての研修なのか。 ・将来的にマイナンバーを活用する方向性に検討しているが個人番号カードの申請・交付の伸び率が今の程度なのか。 ・計画にある職員研修が実施されていないのでは。 ・具体的に事業が進められている様子がうかがえるため。
66	PDCAサイクルを活用した業務推進	行財政改革課	E:検討の結果中止	4	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・この説明だと市長発のミッションが2年間積み残しとなったまま中止となったと読み取れるが… ・経営的戦力を兼ね備えた人材が育たなかったのか政策面で政策に繁栄されなかったのか判断がしにくい。 ・一時休止が妥当かが不明。 ・ID47と同様の表現になっているがこちらも非常に大切な条項であり、どうして中止されたのか明確に記載するべきであるし、今後の見直し方も同時に明記すべきだと考える。
67	システム再構築を契機とした既存事務手順の棚卸、業務手順書の再整備	行財政改革課	C:計画を下回る	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口サービスの手順書の見直し、どの程度の見直しをされたのか、具体的にわからないので判定しにくい。 ・コンサル結果が出るのに時間がそれなりにかかるのは理解できるが、取り掛かりが遅いのが原因では？
68	事務決裁規程の抜本的見直し	職員課	B:計画どおり	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善につながっているのであれば妥当だと考える。
69	弾力的組織再編・能力の最大発揮を目指した人員配置の実施	職員課	B:計画どおり	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・計内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・県との調整も行われているようなので、今後も精力的に進めていただきたい。
70	人事評価制度の見直し	職員課	B:計画どおり	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・人事評価制度検討委員会の構成メンバーと個人的感情の入らない公平な立場で評価できるような研修の内容になっているのか危惧する。 ・制度導入が実施されたことは計画通りに進んでいると考えるが、計画自体が検討の羅列で適正？ ・判定しにくい。
71	人材育成基本方針の見直し及び人材育成基本方針に沿った取り組みの推進	職員課	B:計画どおり	6	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・計画内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・内容的には妥当だと考える。
72	健康管理計画の策定	職員課	B:計画どおり	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・受講率が成果指標となっているのは違和感がある。 ・健康管理研修の受講率目標が何故100%ではないのか？ ・計画内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・研修等も複数回実施されており順調と考える。
73	新たな定員管理計画の策定	職員課	B:計画どおり	5	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に伴う適正定員の計画は十分か？ ・市報等の周知が効率的に行われているか、また正職員数の目標値が増加傾向なのかどうか判断できない。
74	人事評価制度の見直し(再掲)、新給与体系の研究	職員課	B:計画どおり	5	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ID70と別にする理由が分かりません。 ・スポーツ選手のように成果をはっきりと表れるのは評価がしやすいが職員の場合は難しい面があるので公平な人事評価制度を構築してほしい。 ・検討を行っていないのだから、「未着手」ではないのか。 ・検討していく、の項目が多いので計画通りかどうか判断できない。
75	砂像のまちとつとりの推進	鳥取砂丘・ジオパーク推進課	B:計画どおり	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・催し物を変えて観光人口を増やす工夫をされてはいるが、施設内に観光客がとどまりたいようなものが足りないのではないか。 ・経済効果がどの程度なのか、地域の住民の盛り上がりもかけている。判断しにくい。 ・行政が主体となって取り組むべき事業か疑問。 ・ブランドとして定着していることは理解できるが、地元人材の育成策、集客を促すための企画の立案も継続して取り組んでほしいところ。 ・具体的な事業展開が確認できるため妥当であると考え。 ・妥当とは思いますが、砂像の町(砂丘)をもっと強く意識し続けてほしい。
76	ビジネスマッチング支援事業の強化	企業・立地支援課	B:計画どおり	4	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業に波及効果が出るような産業資本であればよいが、逆に誘致をして地域企業の経営が圧迫される現実もある。 ・支援事業の件数では判定はしづらい。 ・制度の周知が主体で具体的目標に欠けている。 ・計画内容の表記が大まか過ぎて評価のしようがない。 ・進捗内容の詳細がわからないため。
77	債券運用指針の策定、債券運用の実施	出納室	B:計画どおり	7	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ID52と一緒にしてはどうか(違いが不明) ・計画自体が運用を推進する、だけで具体的な取り組みがわからず、本当に確保でき充実した内容か判断できない。
78	新電力の利用促進	経済・雇用戦略課	B:計画どおり	8	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・検討、見込み、必要があるだけでは判断できない。 ・消費効果が高いので経済活性化につながる。地産地消の効果を上げるためにも積極的に促進してほしい。再生可能エネルギー(電気の地産地消)